

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を運営する株式会社バンク(須永珠代表取締役)と、群馬県前橋市(山本龍市長)、岩手県北上市(高橋敏彦市長)は18日、福祉施設やNPO法人を支援するため、思いやり型返礼品プロジェクト「きふと」(<https://www.furusato-tax.jp/jp/>)を立ち上げた。

思いやり型返礼品とは、自分のためでなく、誰かの役に立つ返礼品。寄付を通じて故郷を応援

### ふるさと納税

# 障害者製品を返礼品に

## 新プロジェクト 前橋市など立ち上げ

するとういう本来の趣旨に沿わない。お得な返礼品に対する寄付が集まる現状を改め、社会貢献など

人公名でランドセルが寄付され、全国に広がったことから着想を得て、2017年10月から思いや

また、北上市も18年11月から同サイト上で募集。これも食堂に返礼品を寄付するなどの取り組み

う思いやり型返礼品は、障害者施設などで作る製品を返礼品に選ぶことで、障害者の自立を支援

めの雪かきを手伝うなど体験イベントをする「参加型」がある。18日に同サイト内に特設ページを開き、募集を始めており、19年度末までに100自治体の参加を目指す。

同日の会見で、山本前橋市長は「寄付によって社会を支えるという善意を全国で共有したい」、須永代表取締役は「ふるさと納税は過渡期にある、制度本来の趣旨に基づいた自治体の取り組みを支援したい」と語った。

への寄付増を目指す。「きふと」、「立ち上げ」のきつかけは、前橋市が市内の児童相談所に漫画「タイガーマスク」の主人公

り型返礼品を始めたこと。現在、障害者施設の製品を返礼品にしたり、車いすなどの寄贈を受け入れたらしている。

みを推奨している。「きふと」、「は、こうした取り組みを全国の自治体に広げていく。

する「支援型」、福祉施設に車いすなど役立つ商品・サービスを贈る「寄贈型」、協賛金を贈る「協賛型」、高齢者のた

「きふと」が取り扱

(井口拓治)